



# 大庭申だより

2021年(令和 3年) 7月6日

藤沢市立大庭中学校

校長 千葉 雄一

## ベストを尽くせ！ ～夏の総合体育大会始まる～

6月22日、夏の大会に向けた壮行会が行われました。3年生は体育館、1・2年生は各教室でリモートでの参加になりました。私は壮行会で、次のような話を選手に向けていたしました。

去年の夏も今年の夏もコロナ禍は変わりません。けれども違うところがあります。3年生の皆さん、去年の夏を思い出してください。去年の夏と今年の夏で違うところは、中体連の夏季総合体育大会が行われることです。去年の夏は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中体連の夏季総合体育大会が中止となりました。皆さんと一緒に県大会や関東大会・全国大会を目指して頑張っていた先輩たちは、どれだけ悔しい思いをしたことでしょうか。感染状況によっては、県大会や関東大会・全国大会もどうなるかわかりませんが、1つでも多くの部活が市内大会を勝ち抜き、さらに上の大会に駒を進めてもらいたいと思います。昨年、悔しい思いをした先輩達の思いも背負って、精一杯頑張ってください。

夏の大会に向けて、各部の部長から大会に向けた意気込みや試合日程等が伝えられました。私が出るまでもなく、各部長からは「昨年悔しい思いをした先輩達の方まで頑張る」という決意が述べられ、また、大会が実施されることに対する様々な方への感謝の言葉が語られました。

夏の大会は6月26日から始まっていますが、7月3日は荒天のため全ての競技が中止となり4日も雨天のため屋外の競技はすべて中止となりました。そのため、本格的には、まだ、始まっていないような状況です。今後の各部の健闘を期待したいと思います。



### いじめ防止講演会

6月30日、1・2時間目、体育館で1年生を対象にいじめ防止講演会を実施しました。講師は湘南学校教育研究所・代表 いじめ防止プログラムファシリテーターの橋本佐紀子さんをお願いしました。お話を聞くだけでなく、ワークショップも行われ生徒も積極的に参加していました。



### 情報モラル講座

7月2日、スマートフォン等の適切な使い方や正しい情報を読み取れる力を身につけることをねらいとして、情報モラル教室を実施しました。教育ネットから、3名のインストラクターの方においでいただき、2年生と3年生の各クラス1時間ずつ授業をしていただきました。



## 困っている人に手を差し伸べられる その「誰か」になる

迷子になっていた女兒を保護したとして奈良県天理署は中学2年の女子生徒に感謝状を贈ったというニュースを見ました。午後6時頃部活帰りの路上でペットボトル3本が入った袋を持って歩く女兒4歳を発見。雨が降っていたことから、「荷物大変そうやけど大丈夫。一緒に歩こうか」と声をかけ、30分ほど女兒について歩き、無事、女兒の家族を見つけたということでした。女子生徒は「声をかけるか迷ったが、先生が『人のために』と言っていたのを思い出して声をかけた」と話し、道中では幼稚園での生活の話などを聞いていたという。女兒は、親が目を離した隙に、1人で買い物に出かけていたそうです。女子生徒は「また、困っている人がいたら、声をかけたい」と笑顔だったという。実は2年前、大庭中の生徒も同じようなことをしています。そのとき、平山尚前校長が学校だよりに書かれたものを紹介したいと思います。

先日、近隣の方から、お電話をいただきました。大庭中学校の3年生が、雨の中大きな荷物を抱えて困っていたお年寄りをご自宅まで送り届けてくれたそうです。その家族の方から感謝の内容でした。困っている人が目の前にいて、自分が救うことができるのなら、手を差し伸べるのが当たり前だとは思いますが、でも、頭ではわかっている、とっさには行動できないことの方が多いかもかもしれません。とっさに行動できる人と、できない人の差は、他人事を自分事として捉えられるかどうかではないでしょうか。

生徒の皆さんには、最初に紹介した天理市の女子生徒や大庭中の先輩のように、困っている人がいたら、声をかけ助けてあげられる、その「誰か」になってほしいと思います。

## 田植えに行ってきました！

6月7日、8組さんが引地川沿いのたんぼで田植えをしました。たんぼに裸足で入ると足の裏で感じる泥の感覚は、なんとも言えない感覚だったのではないかと思います。今は少し成長した稲がたんぼで風に揺れています。秋になって、稲刈りに行くのも、今から楽しみです。



藤沢市教育文化センター 教育文化講演会

## 変化する時代に生きる子どもの心を育てる

～アドラー心理学からの大人の関わり～

社会性、創意工夫力、臨機応変力を育み、自立心・責任感・貢献感を子どもが身につけるには、周りの大人はどのように関わればよいのでしょうか。子どもを伸ばすアドラー心理学の4つのキーワードである「尊敬」「共感」「信頼」「勇気づけ」の理解を深めることを通して、よりよい関わりかたを一緒に考えましょう。



〔講師〕 有限会社ヒューマン・ギルド  
代表取締役 岩井 俊憲 氏

〔経歴・資格等〕

アドラー心理学カウンセリング指導者、上級教育カウンセラーの資格を持ち、勇気づけによるコミュニケーション研修全般（リーダーシップ、コーチング、カウンセリングマインド、メンタルヘルスなど）を30年以上に渡り行っています。

と き 8月17日（火）14:00～16:15  
（入場無料 手話通訳有）

と ころ 湘南台文化センター市民シアター又はオンライン

定 員 会場参加 100人（先着順）

申込み （会場参加）電話 Tel (50) 8300

（オンライン参加）申込フォーム（二次元コード）

7月12日（月）～7月30日（金）

電話受付 平日 8:30～17:00

問合せ 教育文化センター Tel (50) 8300

